

令和元年度パートナーシップのまちづくり推進会議

第1回会議結果報告書

会議の名称	パートナーシップのまちづくり推進会議第1回会議		
開催日時	令和元年7月18日(木) 午後7時00分～午後8時15分		
開催場所	茅野市ひとまちプラザ 3階集会室		
出席者	<p>【委員】 高木委員(副会長)、小池委員(副会長)、北原委員(副会長)、名取委員、山田委員、河西委員、八幡委員、原委員、吉田委員、木川委員、牛山委員、小澤委員、池上委員、鷹野原委員、田村委員、小山委員、塚田委員、森田委員、古賀委員、長田委員、長瀬委員、柳澤委員</p> <p>【市側】 今井市長(会長)、樋口副市長、加賀美企画部長、堀内市民環境部長、両角健康福祉部長、五味産業経済部長、篠原都市建設部長、有賀こども部長、平出生涯学習部長</p> <p>【事務局】 有賀パートナーシップのまちづくり推進課長、国枝コミュニティ推進係長、富澤コミュニティ推進係主任、五味コミュニティ推進係主任、内山ちの地区コミュニティセンター所長、白鳥宮川地区コミュニティセンター所長、小平米沢地区コミュニティセンター所長、東城泉野地区コミュニティセンター所長、小池金沢地区コミュニティセンター所長、小平湖東地区コミュニティセンター所長、柿澤北山地区コミュニティセンター所長、鋤柄中大塩地区コミュニティセンター所長、牛山市民活動センター長、野明市民活動推進係長</p>		
欠席者	渡辺委員、山田教育長、伊藤総務部長、大蔵玉川地区コミュニティセンター長		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
会長	<p>1 開会 (司会進行 有賀パートナーシップのまちづくり推進課長)</p> <p>2 市民憲章唱和 (発声 八幡委員)</p> <p>3 委嘱書の交付</p> <p>4 会長挨拶 大変お忙しいところ、またお足元の悪い中お集まりいただき、誠にありがとうございます。 さて、令和元年度第1回パートナーシップのまちづくり推進会議になりますが、本年は委員の改選の年ですので、新たな体制で開催させていただきます。 今までの経過ですが、昨年、一昨年とパートナーシップのまちづくりに取り組んで20年が経過したということで、ふりかえりの作業をしてきました。その中で、課題や大切なことを抽出し、それぞれの団体で課題の解決に取り組んで行きましょうという流れだと聞いています。また、平成28年にゆいわーく茅野が完成し、市民活動の拠点としてのあり方等を話し合っていたところですので。</p>		

	<p>パートナーシップのまちづくりの条例ができたのが平成15年だったと思います。当時、私は市会議員をやっていましたが、当時から多くの市民がパートナーシップのまちづくりに関心を持っていると感じていました。その時の経験から、やはりすべての人に開かれているべきところであり、すべての人が意見を言える場であると思っています。</p> <p>そんな形で、より良い形を作っていければと思います。本日は活発な意見交換や情報共有をしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>5 自己紹介</p> <p>6 会議事項</p>
	<p>(1) 審議会等の会議の公開について</p>
事務局	<p>〈資料の説明〉 審議会等の公開理由、基準等について</p> <p>会議は公開、また会議録は、個人名は出さないが公開している。本会議もそのような形で進めたいが、よろしいか。</p>
	<p>(承認)</p>
	<p>(2) 副会長の選出</p>
会長	<p>パートナーシップのまちづくり推進会議規則第3条により、副会長を3名置くことになっていますが、立候補される方はいらっしゃいますか。</p> <p>いらっしゃらなければ事務局からの腹案で、高木1号委員、小池2号委員、北原4号委員を推薦したいと思います。みなさんご異論なければ拍手をもってご承認ください。</p>
	<p>(承認)</p>
会長	<p>それでは副会長から一言ずつご挨拶をお願いします。</p>
副会長	<p>新規の委員ですので推進会議そのもののことがわかっておりませんので、皆さんに教えていただきながら務めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
副会長	<p>平成26年からちの地区運協会長を務め、6年目になります。この制度ができてからだいぶ経ちますが、ここ3年で急速に前進を始めたと思います。この勢いを止めないように頑張りたいと思いますので、みなさんご協力をよろしくお願いします。</p>
副会長	<p>諏訪圏青年会議所は40歳以下の集まりです。この中で私が一番若いと思います。若造ですが、若者の視点を持って参加させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>

事務局	<p>(3) パートナーシップのまちづくり推進会議について 〈資料2の説明〉パートナーシップのまちづくり推進会議の概要、役割、これまでの経緯等について</p>
会長	<p>説明は以上になりますが、ご意見やご質問はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
事務局	<p>(4) パートナーシップのまちづくりに関する意見交換 〈資料3の説明〉パートナーシップのまちづくり推進会議の最近の取組、プラットフォームとしてのパートナーシップのまちづくり推進会議のイメージについて</p>
会長	<p>それでは、意見交換をしていただきたいと思いますと思いますが、最初のとっかかりとして、市議会議員と若い人たちで「市議トーク」というものが行われたそうですので、状況報告をお願いします。</p>
副会長	<p>若者の参画を目指して、推進会議とは別の若者企画というチームができました。若い方たちでワイワイ楽しいことをやろうということで、今年に入って3回イベントを行いました。まず、2月21日に、若者企画のメンバーと茅野の若手経営者で懇親会を行い、まちづくりについて語り合いました。また、6月5日には理科大生と茅野の若手経営者との懇親会を開きました。7月5日には理科大生が主だって企画をし、市議と若者が語り合う機会として「市議トーク」を開催しました。45歳以下の若者が41名、市議18人の計59名が集まりました。参加者のアンケートで出てきた意見で、「市議は会長の敵なのか、味方なのか」、「参加して話をする中で、茅野という地域の住民であるという意識が高まった」「これからも若手にどんどん意見を求めてください」といった声をいただきました。今後も参加したいかとの問いには、ほとんどの方がまた参加したいと答えていました。これからも企画を続け、若者の参画を促していきたいと思えます。</p>
会長	<p>これまでの話を踏まえ、感想や意見がありましたらお願いします。</p>
副会長	<p>今の説明の中で、パートナーシップのまちづくり推進会議は協働のまちづくりに関するプラットフォームだと整理されていますが、プラットフォームというイメージをもう少し詳しく教えていただきたいです。</p>
有賀パートナーシップのまちづくり推進課長	<p>都会の駅をイメージしていただければと思いますが、いろんな方向からいろんな列車が入って来る場所ということで、色々な団体が結びつく場所、集まる場所といったイメージでお考えいただければと思います。</p>
委員	<p>茅野市が好きで19年前に所沢から移住してきました。障害者支援や介護に携わっています。この20年で少子高齢化が大きく進んでいますが、諏訪地域で</p>

は介護従事者の数は減っており、地域を支える力が無くなって来ていると実感しています。

また、10地区の方が見えていますが、茅野市ではまちづくりのコーディネーターが必要ということで配置はされていますが、実際のまちづくりの中に形として出てきていないので不満に感じています。諏訪市には一人しかいないところ、茅野市では地区コミュニティセンター10か所に配置しています。地域で高齢者を支えなければ成り立たなくなっている中、各地域でどうやって取り組んでいくか地域住民が知恵を出し、市はそれを吸い上げる必要がありますが、遅々として進んでいない印象です。若い人が古い考えでなくてどんどんまちづくりを進めていただきたいと思います。先ほどの説明にもありましたが、コミュニティにおける自助・共助・公助という考え方がはっきり出ています。これは運営協議会の予算も含めて、みなさんのところが地域の意見を拾いながら、その一つには、実は、社会的弱者のような助けが必要な障害者や介護者の方がいるということをお認めいただきたい。ダイバーシティといいます、多様性のそういった力も活用して是非お力を貸してください。

会長

ありがとうございます。各地区でいわゆる社会的弱者への対応に取り組んでいただいていると思いますが、全体としてのまとまった形になっていない部分もあろうかと思えます。そういったところも課題として考えていかなければいけないと思っています。

今のご発言に関連して何かご意見ありますか。

委員

副会長から、コミュニティ運営協議会とは何のためにあるのか、どうあるべきかと口を酸っぱくして議論してきたとお話がありましたが、そういう経過の中で、まだまだ茅野市民の中ではコミュニティ運営協議会とは何ぞやということで、昔の財産区のなんたらかんたら、昔は区長会がなんたら、そういうところが、特に年配者を中心に残っているかと思えます。コミュニティ運営協議会とは何かという、根幹の部分が市民に浸透していないと思います。少子高齢化が進むにつれて、市民も行政も問題意識を持ちつつあるので、運協の活動等根幹の部分をもっとPRしていく必要があると思います。

副会長

福祉21の立場としては、組織改編にあたり、今後の方向性を考えているところですが、2層3層はゆいわーくで、4層以下は小地域における地縁型でネットワークを形成していくことで、縦横ななめの複合的なつながりができるように仕掛けていきたいと考えています。福祉21では、0歳から100歳まで、障害のあるなしに関わらず、すべてを取り込み、子どもや生活困窮、認知症問題等に目を向けて、市民一人一人の支え合いの実現に取り組んでいきたいと考えています。

市民の自発的な行動の実現のためには、自分たちの地区の問題を自分たちの問題としてとらえてもらうための働きも必要だと感じています。そういう意味で言いますと、新聞にも出ましたが、ほろ酔い座談会等を活用し、小地域での議論を高めていきたいと考えています。そういった小地域の議論の中に、若い人の意見も出てくるようになればいいなと思います。

この場をプラットフォームとしてイメージしているとおっしゃっていましたが、この場でお互いに情報交換し、つながり、どこかで手を結ぶ機会になればいい

	<p>いと思いました。</p>
会長	<p>今、福祉系のお話が出ましたが、茅野市のパートナーシップのまちづくりは、福祉、環境、教育の分野で立ち上がっていますので、環境の分野でご意見お伺いします。</p>
委員	<p>私も市議トークに参加して話しましたが、市民から出るごみはあくまで市が対応すべきだと思っています。市が対応できないごみは業者に任せるとするのはどうなんだろうと思っています。法令を調べると、企業から出るごみは企業が片付ける、市民から出るごみは、市が片付けるということになっていますが、市民はそのあたりの理解をしていないところがあるので、その部分をもっと市民に浸透させる必要があると思います。そこあたりは福祉や環境、教育でもまだまだ分かっていない市民がいますので、そういった部分をもっと吸い上げて、広報の仕方等を検討しながらやっていくと、この会議がもっと有意義になるのではないかと思います。若者の参画についてはどんどんやっていくべきだと思います。メディアの方が広げていただくので、SNSで拡散していくと、茅野市がもっと良くなっていくと思います。</p>
委員	<p>北山は高齢化が茅野市で一番進んでいます。北山としてやらなければいけない事を住民が理解し、北山に住んでよかったという状態を目指していかなければいけないと思っています。情報交換をし、色々な方の経験を取り入れて取り組んでいきたいと思っています。</p>
会長	<p>少子高齢化も大きな問題になっているということで、子育ての観点からいかがですか。</p>
委員	<p>このパートナーシップのまちづくり推進会議は、平成27年までは推進大会の開催についてが主でしたが、それだけではないということで、ここ数年はパートナーシップのあり方を考えてきたところだと思います。その中で、私も結構いろんな意見を言わせていただいて、だいぶ課題があるのではないかとということで、過去の事例も出したり、議論していく中で、去年の最後の会議では、結構みんなが、いい感じになっているんじゃないかみたいな風になりました。でも私は、そんなに急に変わるのかなと思いましたが、やっぱり本音を出して言い合った中で、納得したわけではないんだけど、言っているだけでは何も進まないということで、そういった思いを持ちながら、協働をスタートした時とは、やっぱり状況が違ってるので、今の状況に合わせて前には踏み出せそうということかなと思っています。今年からは前を向いて、過去のことは一旦、それぞれ反省事項として確認したということで、新しい体制の中で進んで行ければと思っています。</p> <p>どんぐりプランについては、コミュニティスクールと学校が2重組織になっていることが課題だと思います。地区と学校と一緒に考えて作り込んで、2重組織にならないように取り組んでいただく必要があるのかと思います。</p>
会長	<p>なかなか難しいテーマだと思います。何かご意見ありますか。</p>

委員	<p>昔は地域で子供を育てていたと思います。自分の子供がいなくても小学校の運動会を見に行ったりもしたと思います。今は自分の子供だけで精いっぱいになっているところがあると思います。そういった部分を、子育て部会の方を中心として、地域で子供を育てる方向に持っていければと考えています。どうやって地域で子供を育てていくかということが重要だと思います。</p>
委員	<p>茅野市の情報化に取り組んで20年ほどになります。茅野市どっとネットの運営や、市民向けの講座を行っています。講座は高齢者の受講が多く、若者や中間層の参加が少ないという現状があります。</p> <p>また、私は組織とは関係なく、市内の小学校で子供たちにプログラミングを教えています。とても素直に話を聞く子供が多いと思います。一般に言われるように、学級崩壊や先生の話を受けないで騒いでいるということはありません。教えていて、学級の生徒数は20人前後がやり易く、それより多くては大変だし、少なくとも寂しいと感じています。これをどうパートナーシップと結びつけていったらいいか難しいところですが、そういったことが広がってほしいと思っています。</p>
会長	<p>今はAIだIoTだと我々はついていけない時代になりつつありますが、行政もデジタル化の時代になりつつありますので、子どもたちは環境に慣れていくことが必要だと思います。地域のお年寄りの見守りもそういうことになっていくと思います。それに関連してご意見ありますか。</p>
委員	<p>今回初めてこの席に参画させていただきました。生まれはこちらですが、外に出て帰ってきて、区の要職はほとんどやりましたが、今日この席に来て、失礼ですが、知らない団体名、内容、を今日初めて聞きました。もう20年近くこういうことをおやりになっているということですが、どの程度一般市民に浸透しているか。今回運協の会長ということで出させていただきましたが、私たちは地区のプラットフォームをしっかりしなければと思っています。みなさま方非常にご苦労されていますが、大変恐縮なんですけど、ちょっと頭の上の方を飛んでいるような感じが、現実味ということで、どうにかしなければという気持ちにはなるんですが、さて、というところです。</p>
委員	<p>私たちの中で子育てがキーワードになると思います。経済優先でやってきた弊害の結果、大切にしたい心の部分が置いてきぼりになっているから、独居老人が寂しい思いをしたり、子どものネグレクトが出てきていると痛感しています。</p> <p>私たちはひと育ち、子育て、というよりも、自分たちの心を育てていく時間を作っていく必要があると思います。そのためには、どれか一つに取り組むというよりも、総合的な取り組みが必要だと思います。そして、それができるのがこのパートナーシップのまちづくり推進会議だと思いますので、ぜひ皆さんと情報共有しながら進んでいければと思います。</p>
委員	<p>先ほど、理科大生が、「市議員は市長の敵なのか味方なのか」と言っていたというお話がありました。今は子供たちにあこがれの職業はと聞くと、ユーチューバーという答えが返ってきたりしますが、子どもたちに市議や市長の仕事を教えて広める機会があれば、将来子供たちが、市議や市長になって茅野市をよく</p>

委員	<p>したいと思ってくれることもあるのではないかと思います。</p> <p>パートナーシップって何だろうと思ったんですが、私は結婚して35年経ちますが、相手がいてこそ初めて起こるパートナーシップなのかなと思っていません。私はたまたま商売をしまして、色々なお客様とお話する中で、子どもが何人かいる家に、結婚していない息子がいるとか娘がいるとか、子育ての前に、まずパートナーがいないというところから始まっていて、それが最終的にコミュニティが作れなくなっていて、親たちにしてみると子育てが終わっていないという年齢の方たちもいます。でも、茅野は結日記でしたか、あれはとても良い企画だと思っていて、5組くらいまとまったという話なので、その話はこの会議から出た企画なのかなと思って、伺いたいと思いました。</p>
加賀美企画部長	<p>この案は市の職員が提案し、前市長の時に始まったものですが、本当に成立するかということもあり、何度も提案しまして、ダメ出しをもらって3回くらい提案をして、やっと許可が出て始まった企画です。デジタルの時代に、アナログの交換日記ということで、私も、こんなのに本当に人が集まるのかと思っていましたが、200人くらい、全国から応募がありました。マッチングをして、最後には御射鹿池で会うということで、プライバシーもあるので新聞には出せませんでした。結構楽しんでみなさんやっただいて、最終的に、5組成立しました。最終的に結ばれて、一番いいのは茅野市に住んでいただくということになりますので、もし東京からこちらに来ていただくということでありましたら、就職とか地域に慣れるとか、そういうこともありますので、サポートして、ぜひともそういう組ができればと思っています。今年もまた、2回ほどやっていきたいと思っています。参加していただける方がいましたら紹介していただいて、カップルができればいいと思っています。</p>
会長	<p>本日は、各団体はいったいどんなことをやっているのか、どんなことを感じているのか、そういったことをみんなで共有できればということで、みなさまからご意見をいただきました。今日出た意見を生かしながら今後の会議を進めていけたらと思っています。</p>
事務局	<p>(5) 準備委員会について</p> <p>別紙4をご覧ください。推進会議は市民等と市で設置するという事になっており、会議の組み立てや議題決め等の準備段階から市民の方と行政と一緒に進めていきたいということで、昨年からは始まっているものです。</p> <p>3月の推進会議で4月1日付けの設置要領を認めていただきましたので、ご確認いただければと思います。</p> <p>具体的に何をするかというと第2条にあるように、推進会議の協議事項、年間開催計画、委員の参集範囲、会議手法等を検討していただきます。</p> <p>委員から8名以内で組織することになっており、去年は副会長3名と委員さん3名にご協力をいただきました。互選ということになっていますので、ご協力いただける方がいましたら、ぜひお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ご協力いただけるという方は是非名乗りを上げてください。急なことですので</p>

で、いなければまた後で個別にお声掛けさせていただきますので、その時はよろしくをお願いします。

有賀パートナーシップのまちづくり推進課長： 本日の会議では、パートナーシップのまちづくりについてや、この会議の役割、これまでの活動のふりかえり等について説明させていただきました。また、みなさまから有益なご意見をいただき、この場がプラットフォームでありますので、課題の解決に導くことができればよいと考えています。

本日の会議で話し合われたことを参考に、準備委員会にて今後の会議の方向性を決めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。これにて本日の会議を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

7 閉会（20時15分）